# 時の窓

全司法労働組合青年協議会発行

ZENSIHO-SEINENKYO

［青年協ｈｐ］※時の窓バックナンバー掲載

No.263




# 全国60名が集結。青年の声で、次の一年を描く

**第36回定期総会｜8月29日―30日**

８月２９日から３０日にかけて、第３６回定期総会が執り行われ、全国から６０名が参加し、向こう１年間の取り組みの方針を確立しました。
討議では、全ての地域から発言があり、各地域の実情を知ることができたほか、青年ならではの新しい視点から問題について検討する、大変有意義な時間となりました。以下、総会の討議で発言いただいた内容のうち、いくつか抜粋して紹介させていただきます。



## 【人員不足・異動に伴う問題】

愛媛支部（代議員） 藤井さん
産休・育休や病休などの休職者が増え、現場の職員が５人不足しているのにもかかわらず職員の補充がなく、その上超過勤務を減らすように指導された。
愛媛支部（オブザーバー） 阿部さん
全員が異動で来たばかりのシマに配属され、誰も業務に詳しい人がいない中で、自身も初めての業務をしなければならなかった。このような「過誤を誘発する人員配置」をするべきではない。

## 【TUNAGについて】

「TUNAGを見てもらうための工夫が知りたい！」（甲府支部（代議員）坂田さん）に対して
札幌支部（オブザーバー）松井さん
「札幌では、１年に６回レクを行っているので、これらのレクの定期的な周知や参加募集にTUNAGを活用している。」
香川支部（代議員）赤根さん
「人によって何に価値を感じるかは変わるから、TUNAGの機能について紙で回覧し、アプリの入れ方が分からない人には直接教えに行くことで、導入率100%を達成した。」



## 【今後の組合活動について】

「組合で行うレクとして、ＣＥ試験の勉強会をすると良いのではないか？」（奈良支部（代議員）西浦さん）に対して
大阪支部（代議員）河上さん
「大阪では一次試験の答案添削から二次試験の面接対策まで行うことで、当局がやってない部分を埋めている。継続的にかかわることで、合格者に合格体験記などもお願いしている。ＣＥ試験対策ができることを魅力に感じて組合に入る人もいる。」
神戸支部（代議員）樋口さん
「組合員を継続してもらうために、ＣＥ対策は有効である。オンラインでも良いので参加させてほしい。また、神戸で行ったＢＢＱのレクに来てくれた新採用４人が、友好祭典にも参加してくれることになった。『参加してくれない？』ではなく、『一緒に参加しよう！』と声を掛けることが大切だと分かった。組合員になる若手を増やすためにも、こういった取り組みや声掛けの方法が重要になると思う。」



## ＜学習会について＞

学習会では、「青年が考える組合活動のＤＸ」と題して、ＴＵＮＡＧ運営会社である株式会社スタメンより富永謙様からご挨拶をいただいた後、ＴＵＮＡＧのさらなる活用も含めた、今後の青年協のデジタル化等について、グループディスカッションを行いました。
議題は、①TUNAGにどんな機能があったら良いか、②裁判所のシステム（mints、ELGA、EASY、勤務時間管理システム等）にどんな機能があったら良いか、③全国の青年につながる、TUNAGを利用してやってみたい催しの三つです。いずれの議題についても、非常に活発に議論が行われました。
①については、チャット機能の導入や投稿に対するリアクション機能（SNSのいいねに相当するもの）の導入を希望する声や、興味のあるコンテンツをＡＩが分析して表示する機能があると面白いという声がありました。
②については、mintsのホーム画面にソート機能が欲しい、システム同士の連携機能が欲しい、各システムのより分かりやすいマニュアルが欲しい等、切実に改善してほしい点について意見が多く出ました。
③については、秋山議長が全国の裁判所をヒッチハイクで巡る企画や、ＴＵＮＡＧのアンケート機能を利用したクイズ企画、全国の裁判所で桜の写真を撮る桜前線企画等、様々なアイデアをいただくことができました。

時の窓
全司法労働組合青年協議会発行
No.263
2 / 4

# 岐阜で笑って、味わって、登った2日間

**青年協友好祭典 in 岐阜｜8月30日―31日**

令和8年8月30日（日）～31日（月）、岐阜県で行われた友好祭典に参加しました。全国から集まった100名弱の青年のみなさんと交流しながら、普段なかなかできない経験をすることができました。


チーム対抗レクで、会話も笑顔も自然に広がりました。


常任委員の準備の様子


金華山頂から望む岐阜の街

## 【1日目｜チームで挑戦】

6～7人のチームに分かれ、五感を使ったさまざまなゲームに挑戦しました。飲み物やチョコレートの種類を当てる「格付けチェック」、ジェスチャーだけで数字を順番に並べるゲーム、絵だけでお題を伝えるゲームなど、どれも工夫されていて、とても盛り上がりました。
最初はあまり話したことのない人とも、ゲームを通して自然と会話が増え、みんなで協力する中でチームとしてまとまっていくのが楽しかったです。上位チームにはお菓子の景品もあり、最後まで楽しく取り組めました。
レクの後には財活の結果報告もあり、各地の取り組みを知ることができました。一番の売り上げを記録した札幌支部に景品が贈られ、全国の仲間がそれぞれの場所で頑張っていることを実感しました。


この絵は…何？

## 【予定変更も良い思い出に】

その後は鵜飼をする予定でしたが、川の流れが速く、中止になってしまったのは残念でした。
しかし、宿泊した十八楼では、旅館の方々のご厚意で夕食を豪華にしていただき、鮎の塩焼きや飛騨牛などをみんなで楽しむことができました。
鵜飼はできませんでしたが、その分、宿で仲間とゆっくり交流したり、長良川温泉にまったり浸かったりしたことも、良い思い出になりました。


十八楼で味わった絶品料理



## 【2日目｜金華山へ】

2日目は金華山に登りました。ロープウェイで途中まで行き、そこから頂上まで歩きました。当日はとても暑く大変でしたが、みんなで声を掛け合いながら登ることができ、頂上からの景色は格別でした。
今回の友好祭典を通して、全国の仲間と楽しく交流し、新しいつながりをつくることができました。予定通りにいかないこともありましたが、それも含めて思い出に残る2日間になりました。
参加いただいたみなさま、本当にありがとうございました！ また会いましょう！


山頂での集合写真


来賓の方々


仲間と一緒に記念撮影


かつての常任委員たち


定期総会議長団


岐阜駅でお出迎え


第36回定期総会、全員集合


実行委員会メンバー


金華山へ向けて出発

## 総会・友好祭典の様子


大活躍の四国地連


村上前議長と腕立て対決


グループディスカッションの様子


岐阜の味を堪能


チーム対抗レク　箱の中身は…


「団結ガンバロー！」


秋山新議長


村上議長による開会のあいさつ

# 退任する常任委員から、感謝を込めて



## 村上 昇平

前青年協議長｜任期2年

このたび、2年間の任期を終え、青年協議長を退任しました村上昇平です。
青年協議長としての2年間、全国各地を回り、組合活動の大切さ、そして何より「楽しさ」を伝えてきました。
「どうせやるなら楽しく」。これは採用されたときからずっと大切にしてきた、私の原点です。
この2年間、本当にたくさんの派遣依頼をいただき、全国各地の仲間と出会うことができました。温かく迎えていただき、一緒に笑い、語り合い、活動できたことは、私にとってかけがえのない財産です。青年協の活動を一緒につくり、支えてくださったすべての皆さんに、心から感謝しています。
これまでは議長として、皆さんに伝える側でした。しかし退任後は、私も北海道・釧路支部帯広分会の一組合員として、仕事をしながら組合活動に取り組みます。仕事と活動をどう両立し、職場で楽しい活動をどうつくるのか。これからは、私が皆さんに教えてもらう側です。
ぜひ、各地の取組や楽しかった活動をTUNAGでたくさん発信してください。私も参考にしながら、これからも皆さんと一緒に組合活動を楽しんでいきます。
2年間、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします！



## 淵崎　智也

前事務局次長・四国地区担当常任
任期1年

1年間、青年協事務局次長・四国地区担当常任を務めさせていただきました。
それまで組合の全国的な行事には参加したことがなく、本当に右も左も分からない状態での就任でしたが、村上前議長・秋山現議長を初めとした常任のメンバーに支えられ、なんとか1年間務め切ることができました。
特に昨年度は友好祭典の開催もあり、通常の業務だけでなく、その運営等についても常任委員会やオンラインでの事前準備を進めていました。
当日まで不安なことも多くありましたが、村上前議長の「まずは自分達が楽しむ」という言葉を胸に、自分自身も楽しみながら運営することができました。
また、ご参加いただいた方々からも「楽しかった」と言っていただき、とても嬉しかったです。
この1年間で、全国の方々と交流する機会が増え、これまで知らなかった考え方や活動を知ることができました。この全国規模での「繋がり」を作っていくことこそが、組合活動の中で最も重要なことであると私は思いました。
今後は、この繋がりを大事に、活動を続けて行きたいと思います。
最後になりますが、1年間支えていただいた常任の皆さんを初め、関わっていただいたすべての皆さん、本当にありがとうございました。




## 丸本　論時

前中部地区担当常任｜任期1年

昨期の常任中部地区担当をさせていただいておりました、丸本と申します。
1年間だけの短い期間でしたが、様々な活動に参加しここでしか培うことができない経験を得させていただき本当にありがとうございました。
全体の活動としては最高裁判所当局との交渉から始まり、個人では東北地連の青年学習会にも参加させていただきました。
普段中々会えない全国の職員とそれぞれが持っている悩みを共有しあえる環境は特別であり滅多にないものでした。
私自身はあまり余裕がなかったため中部地連内での学習会を開くことができなかったことが心残りではありますが、ここで得た経験を後任者に伝えてその先へ繋いで活かせたらと思います。



今までありがとうございました。新常任委員は次号でご紹介します。